

新・ミューズニッチ米国BDCファンド (為替ヘッジあり・年2回決算型)

追加型投信／海外／その他資産

交付運用報告書

第19期(決算日2026年5月20日)

作成対象期間(2025年11月21日～2026年5月20日)

第19期末(2026年5月20日)	
基準価額	10,386円
純資産総額	601百万円
第19期	
騰落率	△ 6.1%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要な事項にかかる情報を記載したものです。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「新・ミューズニッチ米国BDCファンド(為替ヘッジあり・年2回決算型)」は、2026年5月20日に第19期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、「ハイインカムBDCマザーファンド」受益証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっておりましました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

<643408>

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.amova-am.com

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

期中の基準価額等の推移

（2025年11月21日～2026年5月20日）



期 首：11,059円

期 末：10,386円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：△ 6.1%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首（2025年11月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、「ハインカムBDCマザーファンド」受益証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。実質外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、原則として対円での為替ヘッジを行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・投資先BDCから配当収入を得たこと。

<値下がり要因>

- ・BDC市場が下落したこと。

1万口当たりの費用明細

(2025年11月21日～2026年5月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬	111	1.009	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	（ 63）	（0.573）	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	（ 45）	（0.409）	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	（ 3）	（0.027）	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	0	0.001	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（ 投 資 信 託 証 券 ）	（ 0）	（0.001）	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) そ の 他 費 用	6	0.059	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	（ 1）	（0.009）	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	（ 0）	（0.002）	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 等 ）	（ 5）	（0.048）	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用など
合 計	117	1.069	
期中の平均基準価額は、10,995円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

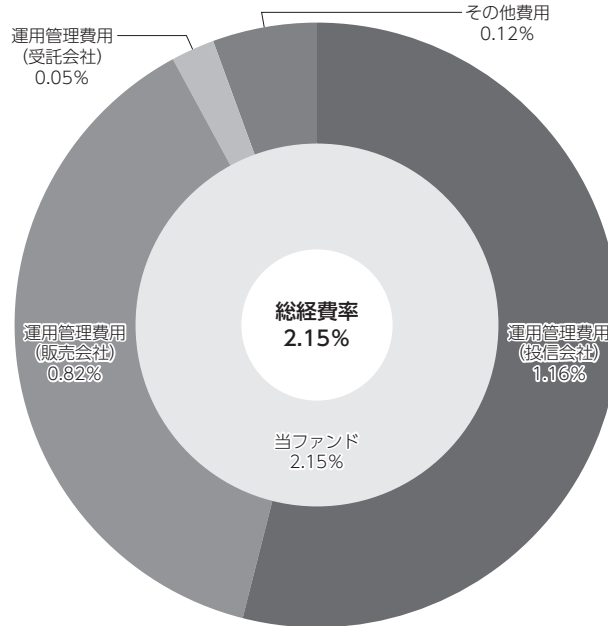
(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.15%です。



（注）当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注）「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認ください。期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

（注）各比率は、年率換算した値です。

（注）当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

（2021年5月20日～2026年5月20日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 分配金再投資基準価額は、2021年5月20日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2021年5月20日 決算日	2022年5月20日 決算日	2023年5月22日 決算日	2024年5月20日 決算日	2025年5月20日 決算日	2026年5月20日 決算日
基準価額 (円)	10,775	10,694	10,336	12,299	12,376	10,386
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 0.8	△ 3.3	19.0	0.6	△ 16.1
純資産総額 (百万円)	795	471	485	566	511	601

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
 (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

投資環境

（2025年11月21日～2026年5月20日）

（BDC市況）

期間中、BDC市場は2025年12月中旬まで上昇したものの、その後、上下動を続けながら徐々に下落しました。

また、期間中は米国経済およびミドルマーケットは冷え込みを見せました。2024年末に見られた堅調な事業基盤は、2025年通期から2026年初頭にかけてのマクロ経済の軟調な局面へと移行しました。関税措置の導入が長期化したことや貿易関連の不確実性が事業計画に重くのしかかり、消費者および企業のセンチメント（心理）を悪化させました。米国連邦準備制度理事会（FRB）は重要な政策転換を実施し、根強いインフレ圧力に直面する中、2025年に3回の利下げを行なった後、政策金利を長期にわたり据え置きました。マクロ経済の不確実性にもかかわらず、AI（人工知能）関連支出に支えられ、米国企業の収益は堅調さを維持しました。

プライベート・クレジットのパフォーマンスは、特に直近2四半期において、二極化がますます進みました。最も防御的なトップクラスのポートフォリオを保有するBDCの多くは、十分な配当カバー率を維持し、追加分配を実施しました。広範な利回りの低下と借り手による大規模な借り換え活動が、セクター全体で金利収益マージンに圧力をかけました。極めて低い水準からのノンアクルーアル（非稼働資産）の増加や、個別的な信用リスクの悪化により、一部の著名なBDCは、長期的な資産基盤を守るため、第1四半期の決算期において、通常の分配構造を下方修正せざるを得ませんでした。

当ファンドのポートフォリオ

（2025年11月21日～2026年5月20日）

（当ファンド）

当ファンドは、収益性を追求するため、「ハインカムBDCマザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。実質外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、原則として対円での為替ヘッジを行ないました。

（ハインカムBDCマザーファンド）

マクロ経済の不確実性の中で資本保全を優先するため、ポートフォリオを高品質なBDCへのオーバーウェイトとする防御的な構成としました。ノンアクルーアル比率が低いBDCをオーバーウェイトとしつつ、相対価値が魅力的なディープバリュエ銘柄には機動的に投資しました。市場の売りが優勢な局面では、ドルコスト平均法による平均取得単価の引き下げを目的として現金を投入しました。また、ポートフォリオのウェイトをロー・ミドルマーケットおよびコア・ミドルマーケットに増やし、ソフトウェアセクターへのエクスポージャーを低減することで、直近数四半期におけるクレジットスプレッド（企業の信用力に応じた国債との利回り格差）の縮小による影響を軽減しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2025年11月21日～2026年5月20日）

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

（2025年11月21日～2026年5月20日）

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第19期
	2025年11月21日～ 2026年5月20日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	— %
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	6,738

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「ハイインカムBDCマザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

実質外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、原則として対円での為替ヘッジを行う方針です。

（ハイインカムBDCマザーファンド）

我々の見解では、BDCは純資産価値（NAV）に対する大幅なディスカウントにより、より魅力的な評価を受けていると考えています。

また、5月に2026年第1四半期の決算を発表するBDCは、市場が抱く深刻な懸念に対し、実際の信用パフォーマンスを明らかにする可能性があると思料します。

さらに、上場BDCの評価は、現在実施されているBDCの積極的な自社株買いプログラムの恩恵を受ける可能性があると思われます。長年にわたるクレジットスプレッドの縮小を経て、不確実性が高まる中、スプレッド拡大の初期兆候が見られます。

当社はソフトウェア関連クレジットに対して慎重な姿勢をとっており、従来の収益減よりも借り換えリスクの方が大きいとみているため、これらのクレジットにおける満期集中を注視しています。

全体として、現在のバリュエーション（価値評価）はリスクに対して過大評価されており、非常に魅力的であると判断しています。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

2025年11月21日から2026年5月20日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

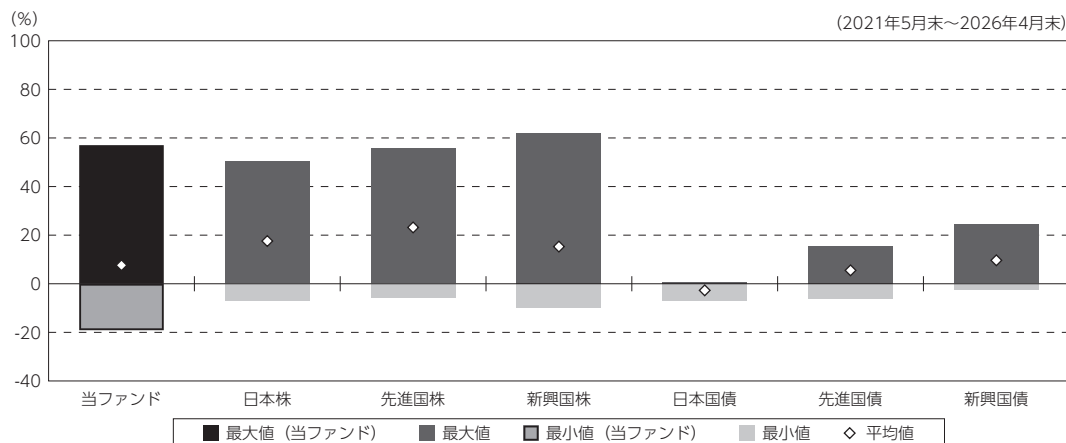
当ファンドについて、「一般社団法人投資信託協会」の合併に伴ない、その記載を「一般社団法人資産運用業協会」に変更すべく、2026年4月1日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。（付表、第8条、第29条）

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／その他資産	
信 託 期 間	2017年2月3日から2045年5月19日までです。	
運 用 方 針	主として、「ハインカムBDCマザーファンド」受益証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	新・ミュージニッチ米国BDCファンド （為替ヘッジあり・年2回決算型）	「ハインカムBDCマザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	ハインカムBDCマザーファンド	BDC（ビジネス・ディベロップメント・カンパニー）を主要投資対象とします。
運 用 方 法	主として、米国の金融商品取引所に上場されているBDCに実質的な投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。BDCの組入比率は、高位を維持することを基本とし、BDCの銘柄選定にあたっては、各銘柄毎の利回り水準、流動性に加えて、ファンダメンタルズや割安性などを勘案して行ないます。実質外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないます。	
分 配 方 針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	57.0	50.5	55.7	62.1	0.6	15.3	24.5
最小値	△ 19.1	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 6.9	△ 6.1	△ 2.7
平均値	7.6	17.6	23.2	15.3	△ 2.7	5.5	9.6

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2021年5月から2026年4月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日 株: TOPIX（東証株価指数）配当込み

先進国株: MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株: MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債: NOMURA-BPI 国債

先進国債: FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債: JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイド（円ヘッジなし、円ベース）

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

指数について

●TOPIX（東証株価指数）配当込みは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。●MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。●MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc. が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。●NOMURA-BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社が、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われるアモヴァ・アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLC により運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。●JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイド（円ヘッジなし、円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLC が算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

（2026年5月20日現在）

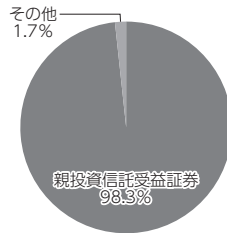
○組入上位ファンド

銘 柄 名	第19期末
ハイインカムBDCマザーファンド	%
組入銘柄数	98.3
	1銘柄

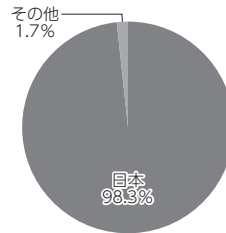
（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

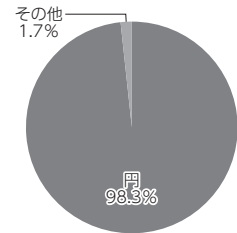
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

（注）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

（注）その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項 目	第19期末
	2026年5月20日
純 資 産 総 額	601,634,424円
受 益 権 総 口 数	579,296,242口
1万口当たり基準価額	10,386円

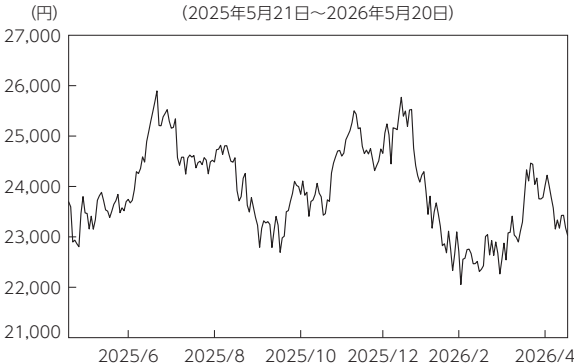
（注）期中における追加設定元本額は140,790,706円、同解約元本額は75,224,371円です。

組入上位ファンドの概要

ハインカムBDCマザーファンド

【基準価額の推移】

(2025年5月21日～2026年5月20日)



【1万口当たりの費用明細】

(2025年5月21日～2026年5月20日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券)	2 (2)	0.010 (0.010)
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	4 (4)	0.016 (0.016)
合 計	6	0.026
期中の平均基準価額は、23,914円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

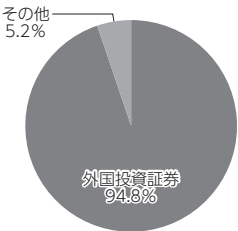
【組入上位10銘柄】

(2026年5月20日現在)

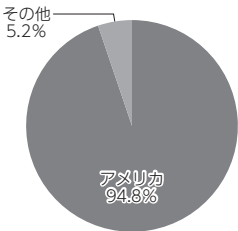
	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 (地 域)	比率 %
1	ARES CAPITAL CORP -BDC	投資証券	アメリカドル	アメリカ	13.7
2	BLACKSTONE SECURED LENDING F-BDC	投資証券	アメリカドル	アメリカ	9.2
3	BLUE OWL CAPITAL CORP-BDC	投資証券	アメリカドル	アメリカ	8.9
4	GOLUB CAPITAL BDC INC -BDC	投資証券	アメリカドル	アメリカ	8.3
5	MAIN STREET CAPITAL CORP -BDC	投資証券	アメリカドル	アメリカ	7.9
6	HERCULES CAPITAL INC-BDC	投資証券	アメリカドル	アメリカ	6.7
7	SIXTH STREET SPECIALTY LENDI -BDC	投資証券	アメリカドル	アメリカ	5.9
8	MORGAN STANLEY DIRECT-BDC	投資証券	アメリカドル	アメリカ	3.6
9	FS KKR CAPITAL CORP-BDC	投資証券	アメリカドル	アメリカ	3.4
10	BAIN CAPITAL SPECIALTY FINAN-BDC	投資証券	アメリカドル	アメリカ	3.4
組入銘柄数		24銘柄			

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

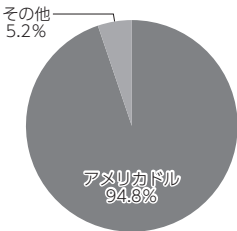
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。
※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。